

カンボジア最新レポート



7月16日(水)山陽中学校において、1,2年生を対象に国際理解出前講座「カンボジア最新レポート」を実施しました。講師は、カンボジアの日本語学校の支援を長く続けておられる山口文代さんです。

まず、山口さんがカンボジアの日本語学校支援に携わるようになったきっかけ、カンボジアの概要、有名なアンコールワットの遺跡の紹介がありました。その後、全員立って、カンボジアで話されているクメール語の挨拶の練習です。生徒の皆さんは大きな声で元気よく挨拶ができていました。また、クメール語の数を学びましたが、数え方がとてもおもしろく、おおいに盛り上がりました。

カンボジアを語る時に、避けては通れない地雷の話もありました。地雷のために手足を失い、遺跡の前で物乞いをする少女のスライドに、生徒の皆さんは何か感じるどころがあったのでしょうか。誰もが真剣な表情で講師の話に聞き入っていました。国際協力とは何か、という問いに、講師が「お金を渡すことではない、教育を受けて自分で働いて自立できるようにすることが大事」と話されたのが印象的でした。

事前学習もしていた生徒さんたちからは、「井戸を寄付するにはいくらくらいかかるのか」「中学生くらいの子で学校にいけない子はどれくらいいるのか」など、たくさんの質問がでました。



カンボジアの日本語学校と山陽中学校の交流の様子がわかる壁新聞。